

ロシア

2010年第1四半期の極東経済

極東連邦管区の鉱工業生産高の成長率（前年同期比）は、12.2%増と連邦全体水準（5.8%増）を大きく上回った。特に、ハバロフスク地方（23.7%増）とサハリン州（16.1%増）の成長が目立つ。固定資本投資（前年同期比）に関し、極東連邦管区としては約35%減となったが、相対的に経済規模の大きい連邦構成主体を見てみると、サハ共和国（24.4%増）とハバロフスク地方（2.6倍）でプラス成長したのに対し、沿海地方（36.5%減）やサハリン州（8.9%減）ではマイナス成長であった。実質貨幣所得成長率および平均月額名目賃金は共に、極東連邦管区の実績が連邦全体水準を上回っている。

日口貿易

2009年、日本の対口貿易（前年比）は、輸出が32億9,500万ドル（約80%減）、輸入が88億5,300万ドル（33%減）と大きく冷え込んだ。輸出については、第1位（総額の45%）の自動車と第2位（同19%）の一般機械（建機を含む）が各々88%減、65%減となった。輸入に関しては、総額の68%を占める鉱物性燃料が23%減となった。

2010年第1四半期の結果は、輸出が66%増（前年同期比）、輸入が81%増（同）であった。輸出面では、ロシアの景気が少しずつ回復してきたこともあり、特に自動車の輸出額が2.1倍と増加が著しい。原油の輸入がほぼ倍増したが、その背景には、油価が上昇傾向にあることや、太平洋パイプライン第1段階の竣工（昨年末）により、沿海地方コジミノ港から原油の出荷が始まったことがある。

ロシアの「隠された」エネルギーポテンシャル

現在、メドベージェフ政権の国策スローガンとして最も目を惹くのが「ロシア経済の近代化」、または「イノベーション経済」の確立である。昨年11月、政府は『2030年までのロシア・エネルギー戦略』を承認し、そこではエネルギー部門の設備近代化、資源の有効利用、省エネ促進等が重点項目の中に含まれた。石油・天然ガス部門偏重型の経済構造を是正し、ロシア経済の国際競争力を高めたいというのが狙いだ。

同戦略の下部文書として、同じ月に、『2020年に向けた省エネルギーおよびエネルギー効率向上のための国家プロ

グラム』が採択された。2020年までにロシア経済のエネルギー効率を40%向上（対2007年比）させることを国家目標とし、その部門別省エネ目標を、熱供給部門20%、電力部門30%、産業・運輸部門40%、住宅部門50%、という形で設定している。その結果、1）天然ガス2,400億 m^3 、原油・石油製品4,500万トン、石炭9,000万トン、電力3,400億kW／時の節約、2）燃料やエネルギー資源の価格上昇時における国内産業の競争力維持、3）原油・天然ガスによる840～1,120億ドルの歳入増、4）連邦および地方自治体予算30～50億ドルの節約、5）温室効果ガスの削減による環境問題の改善、の実現を目指している。¹

コンサルティング会社McKinsey & Companyが昨年発表した、2030年をターゲットとするロシア経済のエネルギー効率および温室効果ガス削減の可能性を分析した報告書によれば、適切な対策が講じられるならば、例えば、住宅・建設部門では1億8,000万石炭換算トン（エネルギー消費総量の13%）を節約し、二酸化炭素2億500万トン（排出総量の7%）の削減が可能であるという。その為には700億ユーロ以上の投資が必要であるが、その結果として向こう20年間で1,900億ユーロの節約ができると試算されている。燃料・エネルギー（石油、ガス、電力、熱供給）部門では、エネルギー効率の向上対策費として、200億ユーロ超の投資によって、600億ユーロ以上節約が可能であり、8,000万石炭換算トン（エネルギー消費総量の6%）の節約および二酸化炭素1億6,000万トン（排出総量の5%）の削減ポテンシャルがあるという。

ロシアがいま、省エネあるいはクリーン・エネルギー促進に向けた産業政策に力点を置き、積極的な外資導入を図ろうとするようになった背景には、2008年7月を境に原油価格が暴落し（一時期は30ドル台）、国内経済および国家財政が大きな打撃を受けたことがあった。今日、原油価格は再び75ドル／バレル（先物取引）程度（およそ2007年水準）にまで上昇してきた。仮に今後さらに油価が上昇することになったとしても、油価によるユーフォリアに酔いしれた、つい最近の失敗の轍を踏まず、ロシア政府が長期的視点から現在の路線を後戻りさせないことを望みたい。それは同国経済の屋台骨やグローバル経済におけるロシアの重要性を強化するのみならず、地球環境の保全にとっても大きな貢献となるだろう。

（ERINA調査研究部研究主任 伊藤庄一）

¹ 第3回日露エネルギー・環境対話（2010年5月13日、於ハバロフスク）でA.Yu.ボンダリ・ロシア連邦極東管区エネルギー省ロシアエネルギー庁全権代表が行ったプレゼンテーション資料（『2020年までのロシア連邦の省エネ及びエネルギー効率向上の国家プログラム』）をもとにまとめた。

鉱工業生産高成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	09・1Q	10・1Q
ロシア連邦	8.0	5.1	6.3	6.3	2.1	▲ 10.8	▲ 14.3	5.8
極東連邦管区	7.5	2.6	4.2	22.6	17.9	3.5	3.4	12.2
サハ共和国	12.5	▲ 6.6	0.0	0.2	3.5	▲ 8.7	▲ 2.6	8.2
カムチャッカ地方	0.3	6.6	1.6	3.9	3.0	▲ 7.5	▲ 2.1	6.1
沿海地方	17.8	19.7	12.6	1.0	8.6	▲ 4.5	▲ 2.7	8.9
ハバロフスク地方	1.7	4.5	▲ 10.7	9.1	▲ 12.1	▲ 5.2	▲ 7.3	23.7
アムール州	0.2	▲ 4.3	4.7	6.4	11.5	10.6	12.6	8.6
マガダン州	▲ 4.4	2.6	▲ 11.2	▲ 7.3	1.1	5.9	11.3	9.5
サハリン州	9.3	12.7	31.1	2.1倍	▲ 13.0	21.9	21.4	16.1
ユダヤ自治州	1.0	3.0	4.2	10.5	5.2	▲ 8.3	▲ 13.2	3.8
チュコト自治管区	6.2	20.4	▲ 9.1	▲ 11.2	3.1倍	38.1	▲ 15.3	11.6

(出所) 『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年第1四半期）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

固定資本投資成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	09・1Q	10・1Q
ロシア連邦	13.7	10.9	16.7	22.7	9.8	▲ 16.2	▲ 15.6	▲ 4.1
極東連邦管区	40.3	7.4	2.3	18.9	7.8	29.9	33.7	▲ 34.7
サハ共和国	5.7	30.2	2.1	92.2	12.0	99.5	45.4	24.4
カムチャッカ地方	▲ 26.3	12.0	5.2	33.5	1.5	▲ 8.0	3.3	2.6倍
沿海地方	8.3	29.3	6.4	20.6	33.7	60.8	3.2倍	▲ 36.5
ハバロフスク地方	23.7	1.8	8.7	22.9	1.6	0.1	▲ 30.6	2.6倍
アムール州	3.2	▲ 5.3	5.1	38.9	21.8	34.6	37.1	▲ 26.4
マガダン州	15.2	5.3	23.9	28.7	2.4	▲ 19.6	▲ 7.2	▲ 36.6
サハリン州	2.8倍	1.7	0.3	▲ 18.1	▲ 6.7	▲ 32.1	▲ 14.1	▲ 8.9
ユダヤ自治州	2.1倍	54.5	▲ 1.2	20.3	▲ 18.5	▲ 10.2	▲ 20.4	2.8倍
チュコト自治管区	▲ 35.9	▲ 38.6	▲ 38.6	1.6	37.5	34.5	11.2倍	6.0

(出所) 『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年1月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

小売販売額成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	09・1Q	10・1Q
ロシア連邦	13.3	12.8	14.1	16.1	13.5	▲ 5.5	▲ 1.1	1.3
極東連邦管区	10.3	12.5	12.9	11.2	10.4	0.2	0.5	5.0
サハ共和国	2.3	5.5	8.6	7.4	7.6	2.1	0.6	1.3
カムチャッカ地方	2.4	5.3	10.8	12.8	9.4	2.0	▲ 1.4	▲ 3.4
沿海地方	15.6	19.0	12.9	11.8	9.9	▲ 2.9	▲ 1.9	4.3
ハバロフスク地方	10.2	13.5	13.3	15.3	7.9	3.8	5.6	5.2
アムール州	16.9	10.6	13.7	12.0	12.8	▲ 2.5	3.1	6.5
マガダン州	2.3	8.3	9.6	10.0	3.1	▲ 1.4	▲ 1.9	7.4
サハリン州	14.9	14.6	22.1	7.9	20.0	0.2	▲ 3.3	10.7
ユダヤ自治州	15.2	9.5	5.4	6.1	8.1	1.9	3.5	1.3
チュコト自治管区	▲ 6.3	▲ 1.3	6.4	12.9	26.3	▲ 0.3	4.1	33.7

(出所) 『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年3月）』（ロシア連邦国家統計庁）；『極東連邦管区の社会経済情勢（2009年版、2010年第1四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

消費者物価上昇率（前年12月比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	09・1Q	10・1Q
ロシア連邦	11.7	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	5.4	2.4
極東連邦管区	11.3	13.3	8.8	9.6	13.6	9.7	6.2	2.1
サハ共和国	10.8	12.1	11.9	9.0	12.5	8.2	4.3	1.2
カムチャッカ地方	11.3	21.5	11.6	10.1	14.8	10.7	7.5	1.5
沿海地方	10.8	12.4	7.1	9.7	13.5	9.5	6.3	1.9
ハバロフスク地方	13.8	13.6	8.7	9.8	14.1	9.5	6.2	2.1
アムール州	12.6	13.2	9.1	9.6	14.1	9.6	6.9	2.2
マガダン州	9.4	12.4	8.1	13.3	19.3	13.4	10.0	2.2
サハリン州	11.5	14.1	10.4	11.8	13.1	10.7	4.9	5.5
ユダヤ自治州	12.1	14.5	5.5	11.7	15.0	12.2	7.3	2.9
チュコト自治管区	11.1	15.3	11.2	7.5	9.9	17.2	10.0	3.0

(出所) 『ロシア統計年鑑（各年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年3月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

実質貨幣所得成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	09・1Q	10・1Q
ロシア連邦	11.2	11.7	14.1	13.1	3.8	0.9	▲ 1.4	6.3
極東連邦管区	8.6	10.4	12.1	10.8	3.4	2.7	▲ 2.5	7.5
サハ共和国	6.1	5.8	6.1	5.1	8.6	1.4	3.4	▲ 1.1
カムチャッカ地方	5.9	6.8	7.1	8.7	4.9	3.6	0.0	8.5
沿海地方	14.7	15.4	15.0	10.6	4.0	4.7	▲ 7.3	5.2
ハバロフスク地方	6.9	8.5	14.3	12.1	▲ 4.9	8.1	▲ 8.7	19.1
アムール州	5.5	9.6	10.3	19.6	11.5	▲ 3.2	17.7	6.7
マガダン州	2.1	3.1	9.1	6.8	1.0	▲ 0.9	▲ 1.5	14.6
サハリン州	10.7	14.4	14.1	12.4	6.8	▲ 2.6	▲ 8.0	2.9
ユダヤ自治州	7.0	8.3	8.3	5.5	12.0	3.7	5.0	2.1
チュコト自治管区	▲ 5.2	17.3	7.2	4.4	5.2	▲ 7.9	▲ 11.9	5.7

(出所) 『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年4月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

平均月額名目賃金（ルーブル）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	09・1Q	10・1Q
ロシア連邦	6,740	8,555	10,634	13,593	17,290	18,795	17,441	19,485
極東連邦管区	9,115	11,508	13,711	16,713	20,778	23,308	21,485	23,956
サハ共和国	11,315	13,437	16,168	19,409	23,816	26,570	24,464	25,721
カムチャッカ地方	12,298	15,477	18,541	21,815	27,254	31,676	28,449	32,481
沿海地方	7,033	8,926	10,903	13,174	16,805	19,002	17,563	20,093
ハバロフスク地方	8,948	11,336	12,888	15,884	18,985	20,995	19,383	21,310
アムール州	7,354	9,392	11,111	13,534	16,665	18,846	17,225	20,418
マガダン州	11,175	14,673	17,747	22,102	28,030	33,027	29,038	33,084
サハリン州	11,711	15,243	18,842	23,346	30,060	33,261	31,893	34,997
ユダヤ自治州	6,514	8,190	9,529	11,969	15,038	16,866	15,544	19,240
チュコト自治管区	18,618	23,314	25,703	30,859	38,317	42,936	39,376	42,950

(出所) 『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年1月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

日口貿易の推移（単位：100万ドル）

	2005	2006	2007	2008	2009（額・前年同期比％）	09.1Q（額・前年同期比％）	10.1Q（額・前年同期比％）
輸出	4,485	7,065	10,738	16,374	3,295 ▲ 79.9	871.7 ▲ 75.5	1,444 65.7
輸入	6,205	6,658	10,554	13,281	8,853 ▲ 33.3	1654.5 ▲ 42.2	2,993 80.9
総額	10,690	13,723	21,292	29,656	12,148 ▲ 59.0	2526 ▲ 60.7	4,437 75.6

(出所) JETRO